

ISSN 1881-7297

日本保健物理学会専門研究会報告書シリーズ

Vol.1 No.2

魅力あるWebサイト専門研究会

2003年3月

日本保健物理学会

日本保健物理学会専門研究会報告書シリーズ ISSN 1881-7297  
Vol.1, No.2, 魅力あるWebサイト専門研究会

---

2003年3月

発行者 日本保健物理学会企画委員会  
発行所 日本保健物理学会  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-3-11 杉本ビル3F  
NPO 事務センター内 日本保健物理学会事務局  
TEL : 03-5339-7286  
FAX : 03-5339-7285  
E-mail : [jhps@wwwsocnii.ac.jp](mailto:jhps@wwwsocnii.ac.jp)  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jhps/index.html>

# 魅力ある保物 Web サイト専門研究会検討報告書

平成15年3月

魅力ある保物 Web サイト専門研究会

## 1. はじめに

日本保健物理学会(以下、「保健物理学会」という。)は、日本における保健物理分野の中核的存在であり、多数の中立的立場の専門家を有している学術団体である。従って、外部専門家及び一般公衆に対して、保健物理学会の活動及び情報を発信していくためのツールとしてホームページを充実していくことは、今後の学会運営の上で非常に重要である。

当研究会では、保健物理学会 Web サイト(以下、「保物 HP」という。)を保健物理学会員(以下、単に「会員」という。)が有効に利用できる場としてより充実させると共に、会員の拡大に貢献する、また、一般公衆の保健物理への認知を高めるための情報源として活用できるよう拡充することについて検討した。

## 2. 検討経緯

本研究会は、平成 13 年 7 月の企画委員会で“魅力ある保物 Web サイト専門研究会”として承認され、検討に入った。本検討は、従来の専門家による検討を主眼とした専門研究会におけるものとは異なり、誰もが利用できる保物 HP の付加価値を高めるためのものであることから、少人数での検討を開始した。

研究会による原案作成後、インターネットグループに協力をいただき、本報告書を取りまとめた。

## 3. 現在の保物 HP で発信している項目

まず、現状の保物 HP の内容について、確認を行った。図 1 に保物 HP のトップページの内容を示す。また、内容の概略は以下の通りであった。

### (1) 保健物理学会概要他、保健物理学会の入会等に関する情報(図 2)

保健物理学会の概要や保健物理学会に入会するための手続きや様式等を掲載。保物 HP の表紙から該当ページを開示。

### (2) 保健物理学会研究会等開催案内(図 3)

保健物理学会で開催される研究会等の開催案内を掲載。保物 HP の表紙「What's New」から該当ページを開示。

### (3) 専門委員会等の報告書の掲載(図 4)

保健物理学会で検討している委員会の報告書を掲載。保物 HP の表紙から該当ページを開示。

### (4) ICRP, AOCRP 等関連情報(図 5)

保健物理学会に関連する学会等の関連情報を掲載。保物 HP の表紙から当該学会等の HP へリンクされている。

### (5) その他、保健物理学会に関する情報(図 6)

保健物理学会の実務的な情報(選挙関係、編集委員会の情報等)を掲載。保物 HP の表紙から該当ページを開示。

現在の保物 HP で公開されている情報は、保健物理学会で管理している情報であり、保物 HP は会員向けの情報発信の場として、十分に運用されていると言える。

年4回発行される NewsLetter については、従来からの会員各人への郵送配布に加え、その pdf 版を保物 HP に掲載する方式が併用されている。NewsLetter は、会員本人の届け出により印刷版の郵送を停止することができ、経費節減・省資源の点で効果を上げている。なお、郵送停止した会員へのフォローの意も含め、新規 NewsLetter の保物 HP への掲載情報は、会員専用のメーリングリスト(以下、「保物 ML」という。)により周知されている。

また、「保健物理」誌は 2002 年度第1号(37-1 号)分より、国立情報学研究所の電子ジャーナルサービスを利用したインターネット上での閲覧が可能となっている(平成 14 年 12 月よりサービス開始)。今後は、学会誌のみならず、学会の学術的資産(専門研究会報告書や企画シンポジウムの予稿集等)も順次同様の電子ジャーナル化を進めることになっている。

#### 4. 現在の保物 HP の利用実態及び運営方法

保物 HP は、現在、国立情報学研究所の学協会情報発信サービスを利用して公開されている。トップページのアクセスカウンタによる集計では、1日平均50件前後のアクセスがあると思われる。このアクセス数は、保物 ML で更新情報が配信された時、学会行事等の開催時期などには一時的に増えるものと思われるが、詳細なアクセス解析等は未実施であり不明である。HP の閲覧者は、会員が中心であると予想されるが、これについても実態は明らかではない。

保物 HP は、現在、保健物理学会企画委員会下の活動する実務グループであるインターネットグループによって運営管理されており、保健物理学会に関する新しい情報が入手されれば、その都度更新・発信している状況にある。インターネットグループは、会員の中でも比較的若手の研究者・技術者が主体のボランティアグループであり、メーリングリスト班・ホームページ班・ニューズレター班に分かれ活動を行っている。ページの更新は、インターネットグループのメンバーを含めた会員からの要望・依頼を受けて、ホームページ班の者が行っており、それ以外の項目について精力的にページを増補しているという状況ではない。また、国内外を問わず保健物理分野全般に視野を広げた更新等を行うことは困難な状況である。

#### 5. ホームページの「魅力」とは

「魅力ある保物 web サイト」を論じる前に、一般論として、「魅力ある web サイト」とはどういうものかを検討する必要がある。以下に、一般論として、魅力のないサイトに共通すると思われる項目を挙げる。

##### (1) サイトデザイン等に起因するもの

- ・はっきりとした目次がない、分かりにくい
- ・ビジターが欲する情報にたどり着くまでの手順が煩雑である
- ・スクロールが長い

- ・容量の大きい動画や写真の多用による表示に時間がかかる。(最近ではブロードバンドの普及により、解消されつつある。)
- ・文字・背景・写真やイラスト等の量・割付・選択等、いわゆるページセンスが悪い
- ・pdfの多用が目立つ(目次以外はほとんどがpdfファイルへのリンクであるようなpdf寄せ集めのHPを指す。数ページ以上の報告書等、ダウンロードにも向くpdfの方が好ましい場合も多い。)

(2) 運用管理方法等に起因するもの

- ・古い情報が載ったままになっている
- ・更新時に古い情報が削除されてしまい、アーカイブがない
- ・必要最小限の情報更新のみで、いつ見ても変わり映えがしない
- ・リンク切れのページがある

(3) サイト全体の内容・構造等に起因するもの

- ・アクセス数が少ない
- ・情報量が少ない
- ・ビジターの反応がない
- ・盛り上がっていない
- ・PR効果がない(会員が増えない等)
- ・他の類似サイトに比べ目立たない、負けている
- ・アクセスしにくい(独自ドメインがある、検索サイトで上位に表示される等)
- ・英語ページもしくは英語ページがない旨の断り書きがない
- ・ユーザからの問い合わせ・意見等がメールでしか送れない(ユーザは個人情報を開示しないと意見が言えず、閉鎖的な印象を与えかねない)
- ・アンケート等インタラクティブなページがない

“魅力”の有無や程度は、閲覧者の閲覧目的だけでなく、価値観・好みといったものによっても左右されるものであるが、以上のような項目を参考とし、保物HPに関しては、

- ・リピーターが多い(閲覧者が感じるメリットが大きい)
- ・快適なブラウジングで必要な情報ページへ迅速に到達できる
- ・保健物理に関する新鮮な情報が入手できる
- ・アーカイブが豊富にある
- ・サイトを媒介とした閲覧者同士・閲覧者と学会等、双方向の情報伝達が可能である

といった項目を重点に、「魅力あるWebサイト」としての方向性を検討していくこととした。

## 6. 保物HPに求められる姿(全体像)

まず、会員の多くは、保健物理学会に関連する最新情報等を保物HPから収集することが予想される。従って、現在の保物HPを会員にとってより魅力のあるサイトに変えていくためには、現在の

保物 HP の実態である、「保健物理学会で発信すべき情報が出来上がり次第、web サイトに掲載する」方式(受動的な方式)から、「保健物理学会及び保健物理分野に関連する情報を常にサーベイし、その情報を掲載する」方式(能動的な方式)へ転換する必要がある。これは、会員だけでなく、非会員を含めた保健物理関係者全てが望む姿であると思われる。

さらに、“会員専用ページ”を設置することにより、会員が利用価値を見いだせるような付加価値を持たせた内容とすべきである。会員であることのメリットが明確となることで、会員でない保健物理関係者(以下、「潜在会員」という。)の入会意欲を高める効果も期待できる。ただし、会員認証が、学会について閉鎖的な印象を与える要因となってはならない。そのためにも、知的財産管理を適切に行う団体としての認証であることを明確に示し、資料の概要(タイトル、著者、概要等)は積極的に一般公開しなければならない。

また、インターネット上に公開する web サイトとしての特質を十分に活かすためにも、国内外、専門家/非専門家、を問わず、外部へ積極的にアピールする場としていくことも重要であると考えられる。

## 7. 具体的な保物 HP の構築(例)

前項に述べた理想像を具体化するために、他の学協会のサイト等も参考にしながら、新たな保物 HP の内容・構造のイメージを検討した。その結果を例として以下にまとめる。

### (1) HP 全体

当該ページを表示する前に ID 及びパスワードの入力を要求することにより、開示を制限できる会員制のページを作成し、会員専用の情報はその中に掲載する。

また、保健物理学会は、IRPA(国際放射線防護学会)に加盟する学会であり、インターネットの特性からも、保物 HP について国内外を問わず閲覧可能として、世界に向けてアピールしていくことも重要である。従って、各コンテンツを英語化することは必須である。この英語化に関しては、保健物理学会の海外会員は現在十数名程度であることから、閲覧制限のない一般向けのページを重点的に進めることが望ましい。

### (2) 一般向け(閲覧制限のない)コンテンツ

保物 HP を閲覧する国内外の非会員の目的には、専門知識を有し会員と同等の情報を得ることを望むケースと一般的な知識として保健物理に関する情報を得ることを望むケースがある。

#### 専門家に向けてのコンテンツ

専門知識を有する非会員は、保健物理学会の潜在会員とすることができ、会員が入手できる情報の一部を閲覧可能とすることが望ましい。従って、ICRP やその他の学会等で既に公開となっている資料については全て閲覧可能とし、会員のみが入手できる情報についてはそのリストのみ公開することで差別化を図ると同時に、入会意欲をかきたてるようにする。なお、特に専門研究会等の活動状況、報告資料等については、日本の保健物理界の存在を世界に広くアピールするものとして、積極的に英語での紹介を進めるべきである。

また、保健物理学会がこれまでに刊行してきた書籍については、そのリストのほか、表紙

写真を含めた情報(発行年、目次・概要、価格等)を掲載するとともに、当該ページから購入依頼を学会事務センターに送信できる仕組みを設けることで、活動のアピールと販売促進の両方の効果が期待できる。

上記のようなページの拡充により、潜在会員が入会意欲を持った場合には、できる限り簡便な方法で入会できることが望ましい。そこで、WEB 上から入会申請ができる、もしくはWEB 上で必要事項を入力すれば、あとは押印して送付するだけの申請書がプリントアウトできるようなシステムを構築することも有効であろう。

#### 一般に向けてのコンテンツ

非会員、特に専門知識を有しない一般公衆については、「保健物理」という言葉そのものを知らない者、公開された報告書等も理解困難な者が大多数であろう。そこで、これらの閲覧者に対して、保健物理における検討事項や保健物理学会の役割等をわかりやすく示したパンフレットを掲載する。(参考に、図7として現在保物 HP に掲載している「保物学会の解説」を示す。)

(1) 併せて、一般の閲覧者を想定した FAQ(初期は 20 ほど作成し掲載する。)を掲載することも有効である。しかし、原子力や放射線に関する一般的な知識については、既に多くの団体、機関、民間企業(電力会社など)等のHPでも掲載されているため、それらをリンク集として紹介すれば、保物 HP 独自で類似のコンテンツを立ち上げることは不要であろう。

#### (3) 会員向けコンテンツ

保健物理学会の会員は、学会に係る様々な情報をいち早く入手できる立場にある。また、新規入会の促進、現会員の退会阻止の観点から、会員であることの特典が保物HPでも明確にされていることは重要である。

現 HP のコンテンツのうち、会員の特典とすべきものとしては、学会誌、各種報告書等の閲覧(ただし、前述のとおり、NewsLetter については現在非会員も閲覧可能であり、継続して一般向けページに置いてもよいと思われる)、会員のみ知らせるべき情報の掲載(選挙情報等)等が考えられる。

逆に、特典として新たに望まれるものとして、委員会等の組織が利用する、いわゆるチャットを利用した「会議室」の提供、会議に必要な資料等を置く「保管庫」等がある。(アイソトープ協会主任者部会で実施済。)また、会員が持つ情報を他の会員に知らせる“掲示板”機能により、より新鮮でわかりやすい情報の共有をできるようにする。また、会員は、必要な委員会報告書等を自由にダウンロードできる仕組みを作る。

ここで、現在発信している情報を基に、以上に述べた事項を整理しサイトマップ化したものを図8に示す。これらはあくまでも一例であり、実際に「魅力ある保物 HP」に向けたサイト改造が決定され作業を開始する場合は、改めて、閲覧者の欲する情報の内容、対応に必要な作業量等を調査する必要がある。

## 8. 今後の課題

### (1) 改造作業及び運営方法について

現在の保物 HP は、前述の通りインターネットグループによるボランティアの運営で管理されているため、かなりの作業時間を必要とする、大幅なページの増補を含めた改造作業は、事実上不可能である。

従って、まず、大幅な改造を行う場合には、他の学会内組織との連携もしくは新たな組織の立ち上げによるタスクフォース型のアプローチが不可欠である。なお、改造終了後も、HP の新鮮さを保つためには、保健物理分野の情報収集や、新たに発行される文書等のコンテンツ作りを積極的に行うための人員確保が必要であるが、これについては、現在のインターネットグループの運営・活動方法の見直しによって実現する可能性もあり、インターネットグループの判断に任せたい。

また、将来、保物 HP の利活用が向上した場合には、より活発な情報発信を実施するため、専門の会社による運営管理を委託することも視野に入れた検討が必要である。しかし、この外部委託を行う場合についても、保健物理学会独自で運営する場合と同様に、学会の内部に最新の情報を提供する組織を設け、保物 HP に供給していくことが重要である。

### (2) WWW サーバサービスについて

本検討では、会員にとっての利用価値の向上と潜在会員への入会の動機付けを目的として、会員専用ページの設置を提案している。しかし、現在保物 HP が利用している国立情報学研究所の学協会情報発信サービスは、規約により閲覧制限ページの設置を禁じているため、会員専用ページを設置するためには、保物 HP の一部または全部を、他のサーバに移行することを検討する必要がある。

数多いレンタルサーバサービスから適切なものを選択するには、セキュリティ・容量・コスト等の要求仕様を明らかにしておくことが重要で、そのためには、サイト構築に係る設計をより詳細に行う必要もあると思われる。

### (3) ガイドラインの策定について

本検討では、保物 HP の魅力を向上させるためには、会員がより手軽に様々な書類を入手することができるようにすることが必須であると考えた。しかし、前述の通り、「保健物理」誌は編集委員会の尽力で既に電子ジャーナル化が開始されており、他の報告書等についても同様のサービスが検討されているようである。逆に、専門研究会や検討委員会の報告書のいくつかは保物 HP のトップページからリンクされ事実上で誰でも閲覧できるようになっている。

学会の資産である様々な書類の取扱い、例えばネット上での公開の是非及び方法、著作権や複写利用等に関する表示等は、発行・編集を担当する組織毎に独自で判断すべきものではなく、より広い視野にたった組織が、ガイドラインを策定し、運用していくことが不可欠であろう。

また、会員用のページへの設置であることか杞憂となる可能性も高いが、掲示板に不相应な書き込みがあった場合の削除措置権限等も、ガイドラインとして策定するべき項目と思わ

れる。さらに、現在運用中の保物 ML と掲示板の使い分け等も明示されていることが望ましい。

#### 謝辞

報告書のとりまとめに際して、ご協力いただいたインターネットグループに感謝いたします。

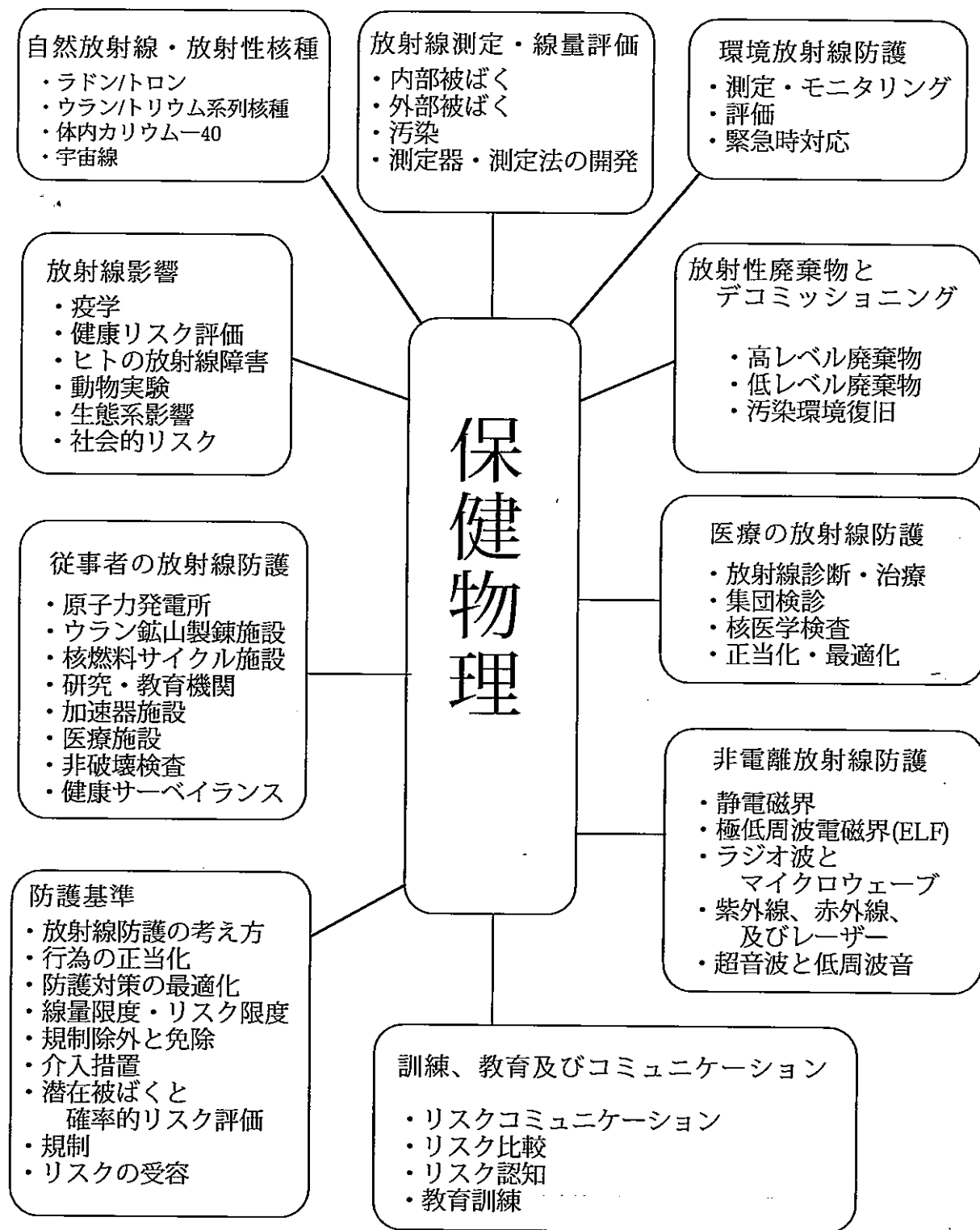
#### 魅力ある保物 Web サイト専門研究会

主査 野村紀男(核燃料サイクル開発機構)

赤羽恵一(大分県立看護科学大学)

栗原 治(核燃料サイクル開発機構)

高田 千恵(核燃料サイクル開発機構)



## 保健物理学会が取り組んでいる領域

図7 保物HP「保物学会の解説(現状)」

JHPS

Dec 20 2002



日本保健物理学会  
Japan Health Physics Society

日本保健物理学会は、1961年に米国保健物理学会(Health Physics Society)の日本支部を包含する自主的性格の日本保健物理協議会としてスタートし、1965年にはIRPA(国際放射線防護学会)に加盟する学会となりました。放射線防護・安全に関する学術および技術の開発を促進し、その成果を社会ならびに実務に反映することによって、広く人類の繁栄に寄与することを目的としています。

- |   |   |
|---|---|
| ■ <a href="#">学会の概要</a>                     | ■ <a href="#">身元不明線源問題検討委員会報告書(pdf)</a>   |
| ■ <a href="#">入会の案内</a>                     | ■ <a href="#">身元不明線源問題のページ</a>            |
| ■ <a href="#">保物メーリングリスト</a>                | ■ <a href="#">学会名改称等に関するアンケート結果 集計表</a>   |
| ■ <a href="#">日本保健物理学会第37回研究発表会(2003年度)</a> | ■ <a href="#">AOCRP-1</a>                 |
| ■ <a href="#">IRPA11</a>                    | ■ <a href="#">AOARP(アジアオセアニア放射線防護協議会)</a> |
| ■ <a href="#">ICRP対応委員会(ドラフトコメント)</a>       | ■ <a href="#">国連科学委員会報告(放医研のリンク)</a>      |

#### What's New

- |            |   |
|------------|---|
| 関連講演会      | <a href="#">ISORD-2(2nd International Symposium on Radiation Safety and Detection Technology)</a> |
| 企画行事       | <a href="#">40周年記念行事「新しい放射線防護体系の構築へ向けた最近の話題」</a>  |
| 関連講演会      | <a href="#">放射線リスクと分子・細胞レベルの影響メカニズムに関する国際ワークショップ</a>  |
| Newsletter | <a href="#">ニュースレター30号発行</a>  |
| 研究発表会      | <a href="#">日本保健物理学会第37回研究発表会(2003年度)</a>   |
| 選挙関係       | <a href="#">日本保健物理学会役員選挙公示および役員(理事・監事)候補届様式(会員向けお知らせ)</a>   |
| 関連講演会      | <a href="#">2002年12月:原子力基盤クロスオーバー「生態圏核種移行研究」国際シンポジウム</a>  |
| 編集委員会      | <a href="#">新しい論文審査システムについて 電子ジャーナルの利用について (会員向けお知らせ)</a>   |

- |  |   |
|--|---|
| ■ <a href="#">企画行事の開催案内</a>                  | ■ <a href="#">ニュースレター(NewsLetter保健物理)</a> |
| ■ <a href="#">関連講演会</a>                      | ■ <a href="#">学会誌「保健物理」の目次</a>            |
| ■ <a href="#">IRPA-10</a>                    | ■ <a href="#">委員会・専門研究会活動</a>             |
| ■ <a href="#">ICNIRPのガイドライン</a>              | ■ <a href="#">関連サイトのリンク</a>               |
| ■ <a href="#">最新のNRPB Bulletinの紹介(JARAP)</a> | ■ <a href="#">若手研究会のページ</a>               |
|  | ■ <a href="#">ロゴのページ</a>                  |

学会に関する問い合わせは:

学会事務局あるいは下記のアドレスまでご連絡ください。



[jhps@wwwsoc.nii.ac.jp](mailto:jhps@wwwsoc.nii.ac.jp)

このホームページに関するご意見・コメントは左記のアドレスまでお願いします。

日本保健物理学会事務局  
〒113東京都文京区本駒込5-16-9 学会センターC21  
日本学会事務センター内  
電話:03-5814-5801 FAX:03-5814-5820

貴方は **Index File** **Lock Error** 人目の御客様です。

</

図1 保物HP「表紙」

# Japan Health Physics Society 日本保健物理学会



## 学会の概要

日本保健物理学会は、放射線安全・防護に関する研究、開発、管理実務、行政などに係わる約1100名の会員から構成されています。放射線の利用は、原子力から医療・工業・農業・基礎研究まで社会の広い範囲にわたっており、放射線の安全に係わる問題は社会の重要な関心事です。日本保健物理学会は、学術的な立場から、年1回の学術研究発表会(大会)、年3回の企画行事、年4回の学会雑誌「保健物理」の発刊、専門研究会活動などを通して、放射線安全・防護の問題に取り組んでいます。最近では、学会の活動分野は電離放射線だけではなく、非電離放射線と呼ばれる電波や電磁界の安全に係わる研究にまで広がってきております。

学会長:	中村尚司(東北大学)
理事会:	総務理事 野口 宏(日本原子力研究所)
企画委員会:	委員長 飯田孝夫(名古屋大学)
編集委員会:	委員長 小佐古敏荘(東京大学)

### 日本保健物理学会規定類

- 学会定款
- 学会規定

### 学会アーカイブ

- [第42回日本保健物理学会総会討議資料 \(pdf\)](#)

資料(Acrobat Readerが必要です)

- [日本保健物理学会のご案内 \(pdf\)](#)
- [保健物理とは \(pdf\)](#)

[企画案内](#) | [大会](#) | [講演会](#) | [Newsletter](#) | [学会誌](#) | [研究会](#) | [HOME](#)

図2 保物HP「学会の概要」

# 日本保健物理学会 第37回 研究発表会

## お知らせ

下記の日程で第37回研究発表会を開催いたします。応募要領を参照の上、奮ってご応募下さいますようご案内申し上げます。

更新内容(2002年12月17日付)  
参加費の項目を更新しました。

開催案内	
日時	平成15年6月16日(月)、17日(火)
場所	幕張プリンスホテル(*) プリンスホール2階

(\*)印が付いているリンクは、別のサイトへ移動するため、Webソフトの「戻る」ボタンで、戻ってください。

研究発表申し込み(平成15年 1月17日(金) 必着)	
発表申込	申込フォーム
抄録原稿提出期限(平成15年3月28日(金) 必着)	
抄録原稿提出	抄録原稿執筆要領
発表形式	発表規定

発表演題リスト(2003年4月頃公開)	プログラム(2003年4月頃公開)
アクセス(*)	Tour(近隣情報)
参加費	宿泊案内(調整中)
機器展示リスト(調整中)	賛助企業、団体(調整中)

図3 保物HP「研究会等のお知らせ」

# 身元不明線源問題検討委員会報告書

日本保健物理学会

2002年5月

---

図4 保物HP「報告書揭示」

# AOARP

## Asian and Oceanic Association for Radiation Protection

---

### What's New!

AOCR-1  
Call for papers  
(pdf)

The Asian and Oceanic Association for Radiation Protection, AOARP, is an international organization that consists of national Associate Societies in the region of Asia and Oceania. Its purposes are to encourage and stimulate exchange of information between the Associate Societies, to strengthen the activities of each Associate Society and assist in the formation of national radiation protection societies in the region. This Constitution defines the work and structure of the AOARP. It was drafted based on the 4th Meeting of the Asian Regional Committee for IRPA-10 held on May 18, 2000, Hiroshima, and was approved on December 8 2000 by the following Associate Societies:

Australasian Radiation Protection Society (ARPS)  
China Society of Radiation Protection (CSR)  
Indian Association for Radiation Protection (IARP)  
Japan Health Physics Society (JHPS)  
Korean Association for Radiation Protection (KARP)

**CONSTITUTION**

**EXECUTIVE  
COMMITTEE**

---

図5 保物HP「関連学会情報」

2002年11月1日

日本保健物理学会会員 各位

日本保健物理学会選挙管理委員会

委員長 福田 俊

## 日本保健物理学会役員選挙について

(選挙の公示)

日本保健物理学会定款第14条、及び規定第5条に定める「理事及び監事の選出並びに選挙管理委員会の運営に関する規則」に基づき、下記により日本保健物理学会役員(理事、監事)の選挙を実施いたします。

## 記

1. 選挙の公示 :2002年11月 1日(金)
2. 候補届の締切 :2002年12月18日(水)(必着)
3. 選挙公報の発行 :2003年 1月29日(水)
4. 投票の締切 :2003年 2月18日(火)(午前10時)
5. 開票 :2003年 2月18日(火)
6. 異議申し立て締切:2003年 2月28日(金)
7. 当選者の公示 :選挙管理委員会事務局及び

日本保健物理学会誌「保健物理」

以上

---

1) 役員(理事12名、監事2名)の改選を行います。

2) 役員は

(1) 立候補した者

(2) 会員の推薦を受けた者(3名以上の推薦を受け、本人が承諾した

者)の候補者のうちから会員の選挙によって選出されます。

3) 候補届(Word, PDF)の届出先は、日本保健物理学会選挙管理委員会委員長宛です。

---

図6 保物HP「保物学会運営情報」

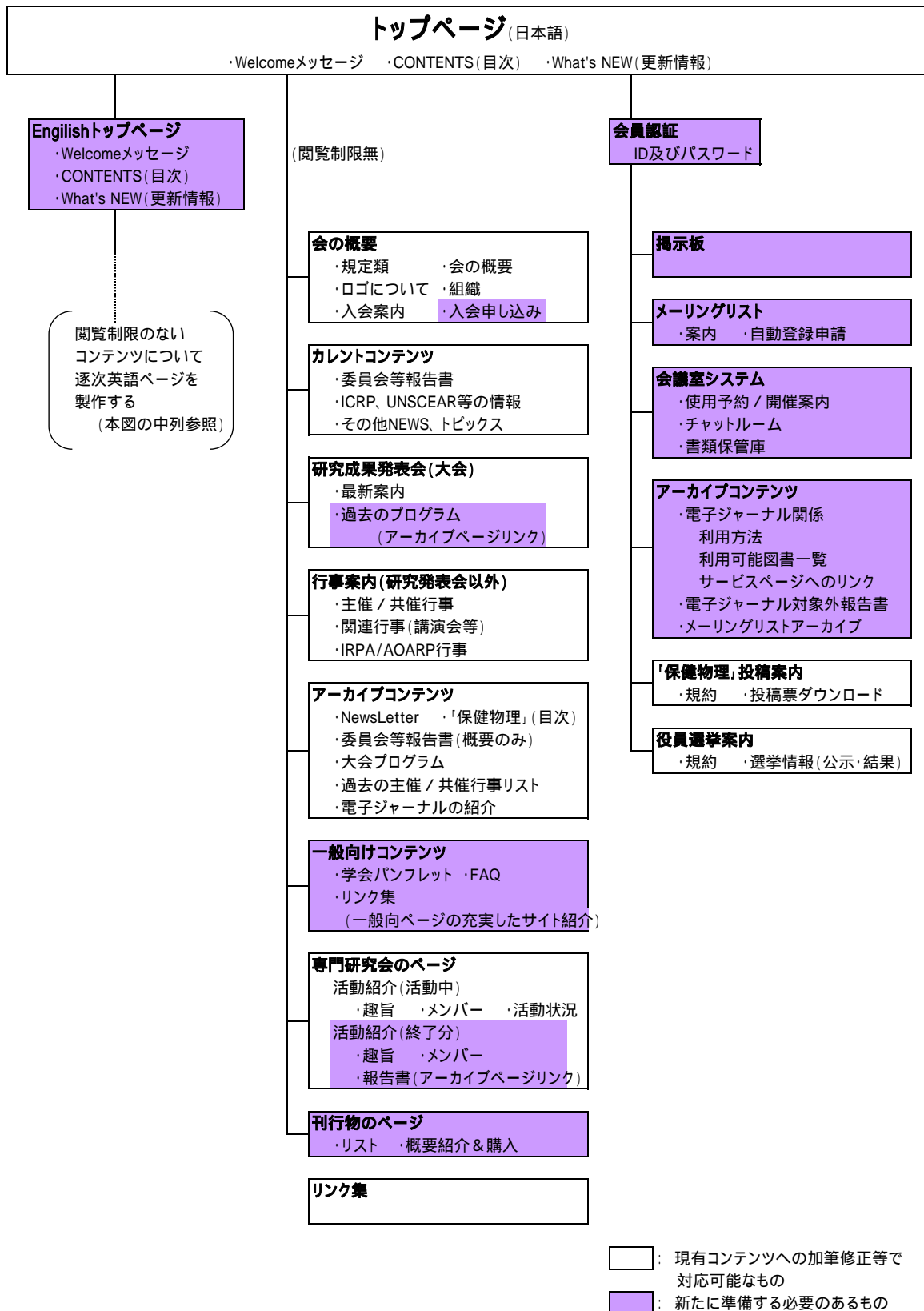


図 - 8 "魅力ある保物HP"のサイトマップ案